

平成 25 年 12 月 20 日

各 位

会 社 名 株式会社 JVC ケンウッド
代表者名 代表取締役社長 兼 COO 江口 祥一郎
(コード番号 6632 東証第一部)
問合せ先 企業戦略部 広報・IR 部長 遠藤 勇
(TEL 045-444-5232)

株式会社ゼットエムピーに対する出資のお知らせ

当社は、ロボット技術をベースにした、テレマティクス^{※1}と自動運転のリーディングカンパニーである株式会社ゼットエムピー（本社：東京都文京区、代表取締役社長：谷口 恒、以下「ゼットエムピー」）に出資しましたので、お知らせします。

記

1. 出資の背景および趣旨

当社は、市販カーオーディオとカーインフォテインメント^{※2}において、米欧市販市場における大きな実績を持ち、ケンウッド、JVC の 2 つのブランドの統合効果を活かした成長戦略を推進しています。

ゼットエムピーは、ロボット技術をベースにした、テレマティクス^{※1}と自動運転のリーディングカンパニーとして次世代モビリティ開発用プラットフォームなどの事業を展開しています。

両社は、2006 年以来ミュージックロボットをはじめここ数年、自動車の自動運転技術の開発を共同で進めてまいりました。更に、本年 7 月 18 日に発表した「合弁会社設立に関するお知らせ」のリリースのとおり、ゼットエムピーの有する技術開発の先進性と、当社の有する技術力やカーエレクトロニクス事業に対する知見と事業実績を融合させ、自動車をオープンなインターネット環境に接続することで可能となる様々なサービス提供を実現するための技術の確立と事業化を目指し、今後成長が予想されるテレマティクス^{※1}分野での事業開発を本格的に推進するための合弁会社「株式会社カートモ」を設立し、その立ち上げの開発準備を共同で進めております。

当社は、この度のゼットエムピーが新規発行する普通株式のうちの 3 分の 1 を引き受ける出資により、当社の中・長期的発展を担う“革新的先進運転システム (i-ADAS)”^{※3}の事業領域である次世代車輻自動運転システム事業と、テレマティクス^{※1}事業を、その分野での取組みが先行するゼットエムピーと連携することで、今後ゼットエムピーの発展と共に当社を支える基幹収益事業を開発することを目指します。

特にテレマティクス^{※1}事業での連携においては、当社の従来型ハードウェア販売から脱却し、情報サービスとハードウェアが連携した複合的ビジネスモデルを確立することにより、当社の中・長期的に安定収益基盤となることが期待できます。

2. 株式会社ゼットエムピー 会社概要

商号： 株式会社ゼットエムピー
所在地： 東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号 住友不動産小石川ビル
代表者： 谷口 恒（代表取締役社長）
設立： 2001 年 1 月 30 日（独立行政法人 科学技術振興機構発ベンチャー有限会社ゼットエムピーとして設立）
資本金： 3,250 万円
事業内容： カー・ロボティクス・プラットフォーム及びセンサ・システム事業、自動車開発支援事業、実車実験支援事業、コネクテッド・カー（テレマティクス^{※1}）事業、企業・大学向け研究お

よび教材用ロボット、書籍出版など。

3. 今後の見通し

当社とゼットエムピーは、この度の出資により、より強固な協業関係を築き、新たなカーエレクトロニクス事業の発展を目指します。本件による当社の今期の業績に与える影響は、現時点では軽微であります。

※1: テレマティクス

テレコミュニケーション（通信）とインフォマティクス（情報科学）から作られた造語。自動車などの移動体に携帯電話などの通信システムを組み合わせ、リアルタイムに情報サービスを提供すること。

※2: カーインフォテインメント

インフォテインメントとは、インフォメーション（情報）とエンターテインメント（娯楽）を組み合わせた造語。現代の運転者が求める、ナビゲーションや位置情報サービス、音楽／動画再生、インターネット接続などの機能を搭載した車載システムのこと。

※3: “革新的先進運転システム (i-ADAS)” (アイ・エーダス : innovative Advanced Driver Assistance System)

当社が目指すカーエレクトロニクスの新事業名称。タスクフォースとして①車両情報、②自動運転、③車載ディスプレイ(HUD)、④センシングデバイスなど4つのテーマを掲げ取り組んでいる。

以 上